

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード		電話	042-769-8330
担当部課名	企画部	情報システム	課	統計 室
事務事業名	統計グラフコンクール経費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	▼	第	章	事業開始年度
基本施策名		第	節	63以前▼年度
施策名		第	施策	

## 2 実施根拠及び関連法令等

なし
----

## 3 事務の区分

自治事務	▼
------	---

## 4 経費の区分

その他の経費	▼
--------	---

## 5 事務事業の分類

市単独事業	▼
-------	---

## 6 受益者負担

なし	▼
----	---

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
児童・生徒への統計思想の普及高揚と統計の表現技術の向上を目的とする。	市内在住・在学の小・中学生
	対象数 51,899人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
第24回統計グラフコンクールの開催 応募作品数 1,743点 応募者数 3,623人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	コンクールへの応募率	応募者数/対象者数×100	多くの児童・生徒に統計への関心を持ってもらう。	11	10	7	10	10
活動指標	活動量を数値化するのは困難。							

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	3,139	3,086	2,769	1,951	1,951
	人員・時間数	1018時間	1018時間	1018時間	1018時間	1018時間
	人件費	3,868	3,868	3,868	3,868	3,868
	その他経費					
	合計	7,007	6,954	6,637	5,819	5,819
特定財源		80	80	80	80	
対象数		51,858	51,799	51,899	51,899	51,899
対象の単位あたり経費		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	総合学習の導入等により、子どもたちが興味を持つ学習も多様化してきており、全体的に応募者が減少傾向にある。また、学校によって応募者数に差があり、応募がない学校もある。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 国や県でもコンクールを実施しているが、市教育委員会では、情報・統計教育研究協議会もあり、学習の一環として統計をとらえていることから、市が事業を行う必要がある。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	小中学生の学習の一環として、統計思想の普及と統計技術の向上において多大な効果を得ている。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 統計教育に関わる教員の組織を中心として作品の募集をし、学校において予備審査後提出するなど効率性を図っている。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	小・中学生の学習の一環としてとらえていることを考えると、対象は市内在住・在学の小・中学生で適切である。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	説明： 応募者が減少傾向にあるため、各校での取り組みや、市の対応において、教育委員会とより連携を綿密に図っていく必要がある。	手段	賞数等の見直しを図ることにより、作品集や入賞者記念品経費の削減を図る。また、作品集作成に係る見直しを行い、経費の削減を図る。
<input type="checkbox"/> ない		削減額	800 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		応募者、作品数は県内で最も多く、全体の半数近くを占めている。その分事務量も多く他市との比較は難しいが、教育委員会との連携により、作品の募集・審査は効率的に行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	年々応募者が減少する傾向にあるが、毎年8割以上の学校から応募がある。上位入賞作品は県や国へ出品しているが、いずれからも高い評価を得ており、統計思想の普及や技術の向上において役立っていると思われる。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント